

平成17年度

## 第6回 まちづくりシンポジウム

平成18年2月25日（土）午後1時30分から

主催◆越谷市コミュニティ推進協議会

会場◆越谷市北部市民会館 劇場

## 第6回まちづくりシンポジウム

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 事例発表

#### ① 川柳地区コミュニティ推進協議会

「人と緑が輝く川柳環境美化運動の活動報告について」

(発表者 大久保 勝治 氏)・・・1

#### ② 大袋地区コミュニティ推進協議会

「花いっぱい運動について」

(発表者 加藤 幸枝 氏・小林 公一 氏・鈴木 可代 氏)・・・2

#### ③ 桜井地区コミュニティ推進協議会

「青少年部会の活動内容報告」

(発表者 高橋 徹 氏)・・・3

#### ④ 北越谷地区コミュニティ推進協議会

「愛してます北越谷 さくら広場の活用」

(発表者 駒崎 美佐子 氏)・・・4

休 憩 (15分間)

#### ⑤ 増林地区コミュニティ推進協議会

「ふれあい部会の活動」

(発表者 鈴木 清貴 氏)・・・5

#### ⑥ 南越谷地区コミュニティ推進協議会

「南越谷防災ウォークラリー ～防災地図を活用して～」

(発表者 松原 千廣 氏・竹ノ内 稔 氏)・・・6

#### ⑦ 蒲生地区コミュニティ推進協議会

「蒲生はみんなともだち」

(発表者 石川 勝之 氏)・・・7

### 4 質疑応答

### 5 閉 会

## 南越谷地区コミュニティ推進協議会

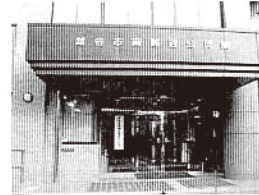
事業名	南越谷防災ウォークラリー
実施部会	・防災部会
事業目的・内容	<p><b>目 的</b> 南越谷の自然環境を楽しみながら防災避難所をポイントとしてウォークラリーすることにより、「南越谷地区地域防災マップ」の有効利用・活用を促進する。併せて、日ごろの防災意識を高め、防災の設備を知ってもらう。</p> <p><b>内 容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所等をラリーポイントとして歩く</li> <li>・各ポイントにクイズ、ゲームを取り入れる</li> <li>・2時間を規定タイムとして、賞を出す</li> <li>・自治会の協力、地元企業の協賛による体制づくり</li> </ul>
実施日	平成17年10月16日（日）
参加人数	84人
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者全員が完歩した。</li> <li>・親子、子どもたちの温かいふれあいができた。</li> <li>・地域住民の防災意識が向上した。 （避難所、防災倉庫、救急センターなどの確認）</li> <li>・自分の街を知ることができた。</li> </ul>

## 第6回越谷市 まちづくりシンポジウム

南越谷地区コミュニティ推進協議会  
《南越谷防災ウォークラリー》



南越谷地区センター(全景)



南越谷地区センター(玄関)



ボランティア団体室

## 平成17年度南越谷地区コミュニティ 推進協議会組織図



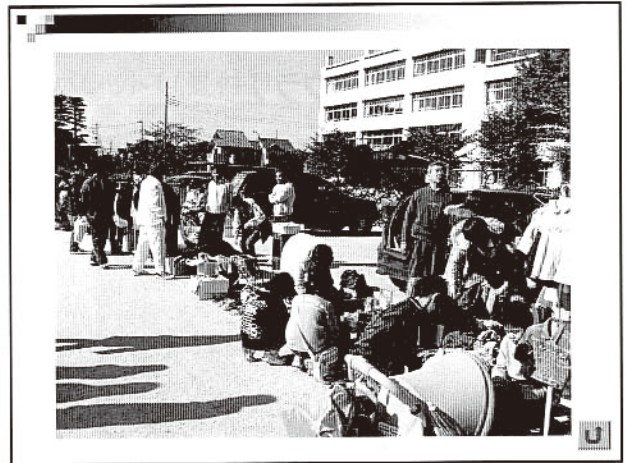
## 防災部会 (構成員15名)

部会長	竹ノ内 稔
副部会長	三好 政利
	白井 俊市
	荒川 登
	占部 さゆみ
	岡田 要子
	宮尾 靖子
	城戸 啓一郎
	越谷 清一
	山崎 一美
	松原 千廣
	塩田 一
	行広 進
	飯島 亮
	町田 芳子

## コミ協全体の事業

- 南越谷地区フェスティバル ① ② ③ ④  
平成17年11月19日(土)・20日(日)実施
- ライトアップX' マスPART II ① ②  
平成17年12月17日(土)実施





**H17年度 防災部会の事業**

- 普通救命救急講習  
平成17年7月9日(土)実施
- 南越谷防災ウォークラリー  
平成17年10月16日(日)実施
- 総合防災訓練  
平成18年3月12日(日)実施予定

## 南越谷防災ウォークラリー

- 実施日:平成17年10月16日(日)雨天決行
- 参加予定人数:100名(2~5名のチーム)  
(子ども歓迎)
- 参加申込み人数:108名
- 参加人数:84名

## 目的

- 南越谷地区地域防災マップの有効利用 ●
- 地区の自然環境を楽しむ
- 防災意識を高める

## 南越谷地区 地域防災マップ



## 下見・経緯1



## 下見・経緯2




## 下見・経緯3



**内容**

☆ラリーポイント

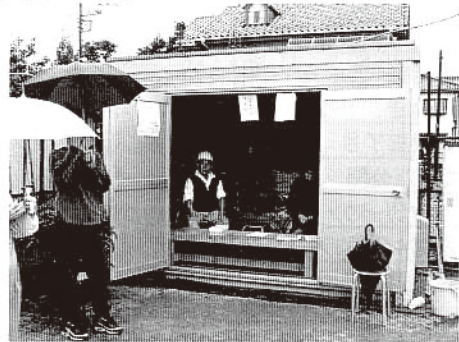
1	パレット	①②③④
2	独協病院 郵政公園	●
3	瓦曽根三丁目	●
4	やなぎだ公園	●
5	越谷ファミリータウン	●
6	七左第4公園ミラクル	●
7	南越谷第一公園	①②③④⑤⑥




越谷郵政



瓦曾根三丁目



やなぎだ公園



赤山四丁目ふれあい公園



七左第4公園  
ミラクル



自然の小道





南越谷第一公園1(防災備蓄倉庫)



南越谷第一公園2(グランドゴルフ)



南越谷第一公園3(炊き出し訓練・カレー)



南越谷第一公園4(炊き出し訓練・カレー)



南越谷第一公園5(閉会式)



南越谷第一公園6(表彰式)



## 特色・効果

- 地元を巻き込んだ事業(官民協力体制)
  - 地区内自治会の全面協力(地区内24自治会)①②  
(交通整理、炊き出し訓練・カレー)
  - 地元店舗(カスミストア、ベルクス)の協力 ①②
- 世代間交流
  - 各ポイントで防災関連クイズやゲームを実施

## 協力自治会

ラリーポイント(避難場所)	自治会名
独協病院・郵政公園	越谷郵政
瓦曾根三丁目	瓦曾根三丁目
やなぎだ公園	東柳田、元柳田
赤山四丁目ふれあい公園	越谷ファミリータウン、若草 赤山四丁目
南越谷第一公園	南越谷四・五丁目



## カスミストア



## ベルクス



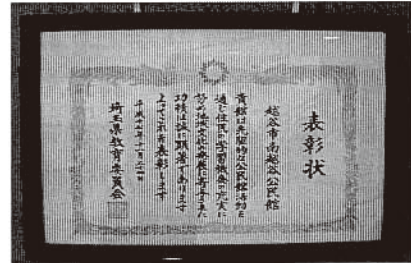
## 新聞に掲載されました



## まとめ

- 今後の活動について
  - 防災組織
  - 安心安全まちづくり

## 公民館が表彰されました



## 南越谷防災ウォークラリー

南越谷地区コミュニティ推進協議会  
防災部会



## 南越谷防災ウォークラリー

1 平成17年10月16日(日)、南越谷防災部会として初の「南越谷防災ウォークラリー」を行いました。

2 目的は、  
・防災マップの有効利用  
・地区の自然環境を楽しむ  
・防災意識を高める

3 4 5 平成16年、17年と2年にわたって下見をして検討しました。

6 2年をかけて、多くの参加者が来てくれそうな計画案を作りました。

- ・ラリーの仕方ー  
・7箇所の避難場所をラリーポイントにして、約2時間のコースをチームで歩く。
  - ・ポイントで防災設備を確かめたり、クイズやゲームをする。
  - ・ラリーカードに通過時間を記録し、クイズの正解とゲーム終了のスタンプをおす。
  - ・ゴール地点で集計し、適正な時間に一番近いチームを優勝にする。
- ・工夫した点ー  
・早く到着したチームが優勝ではなく、チームで助け合い、充分見学をしたり、楽しく遊んだり、環境を見たりしたチームが優勝するように事前の下見で時間を設定し、ゴール地点の最後に発表する。
  - ・参加賞、飲み物の提供したり、クイズやゲームで楽しんでもらう。
  - ・優勝以下10組に豪華賞品(防災食品)
    - ・ゴール地点で炊き出しを兼ねて、昼食のカレー提供。

9月の館報で参加者を募集したところ、108人の参加申込がありました。実際の写真を見ながら当日の様子を説明いたします。

7 8 10月16日の朝です。あいにくの雨。雨天決行と決めていました。それでも84名の参加があり、当日参加してくれたチームもありました。

9 開会式

10 チームごとに1分おきに地区センターを出発しました。

(以下6のマップと照らし合わせて)

11 獨協病院、郵政公園です。獨協病院は東部地区の唯一の救急救命指定病院になっており、24時間災害時の対応ができています。

12 ・地区の役員さんが温かいお茶とお菓子を用意して待っていてくれました

た。

13 瓦曽根3丁目公園です。防災倉庫を開いて見せてくれています。

14 東武線高架下のやなぎだ公園です。

15 越谷ファミリータウン赤山第4公園です。

18 19 ミラクル・越谷科学技術体験センターです。センターのご協力をいただき、中を見学し、遊ばせていただきました。地区内にあるのに、初めて来たという人も多くいました。

20 南越谷に残る自然の小道です。この道が発見できたチームは、最後のゴール地点に簡単に行けるようになっていました。

21 ゴールの南越谷第1公園です。

ここには大型防災備蓄倉庫があります。見学してクイズをしました。

28 つぎに広い芝生のうえでグランドゴルフをして楽しみました。若草自治会の方々が熱心に教えてくれました。雨が上がり始めました。

25 26 27 全コースはこれで終わりです。ラリーカードの集計ができたチームからカレーを食べました。このカレーは、南越谷4, 5丁目自治会の方々の心づくしで、「めっちゃうま特製カレー」でした。

22 カレーのあと閉会式です。

23 タイム発表です。「1時間56分」！ざわめきの中、なんと1番最後にゴールしたファミリーチームが優勝しました。雨のため、用意されていたゲームができなかった所もあり、やや予定より早いタイムとなりました。もちろん、早い場合と遅い場合の2つのタイムを決めておいたのです。

賞品はカップラーメン24個入り1箱。10チームが受賞しました。みんな笑顔。入賞できなかったチームにも全員にジュースが手渡され、閉会となりました。

24 このウォークラリーの大きな特色として

1. 地元を巻き込んだ事業となったことです。

16 17 1. 地元店舗の協賛をいただきました。

超大型スーパーのベルクス、カスミフードスクエアに協力をお願いし、飲み物の提供、カレーの材料等を安く手配していただきました。

そのおかげで、少ない予算で豪華な演出が出来たわけです。

自治会の表 2. 地区内の24自治会の全面協力があり、交通整理や炊き出し、ポイントでの協力をしていただきました。

特色の2として、世代間の交流ができたということです。

・全員が事故なく完歩でき、

・人や親子のコミュニケーションが図ることができ、世代間の交流ができました。

歩きながら会話をしたり、クイズをしたりして、家族の絆を深めることができました。

- ・地区内の施設がウォークラリーをすることによってよくわかった、という声をいただきました。

今後の検討課題として

- ・コース説明をもう少し詳しくしておいたほうがよかった。
- ・天候が悪くなることも考えて対応できる体制を整えておくことが必要。

新聞写真 おかげさまで大変好評を博し、「東武よみうり」「東武朝日」「民営新聞」に掲載されました。

来年度も17年度の実績をベースにして、この事業をさらに発展させてやって行きたいと考えています。